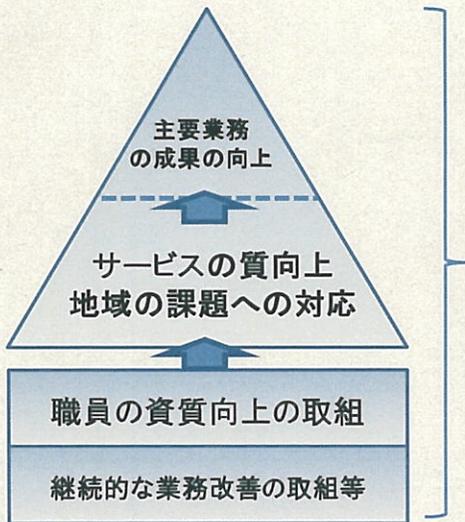


ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組 (ハローワーク総合評価) の概要

ハローワークのマッチング機能の強化を図るため、従来の目標管理・業務改善の拡充、マッチング機能に関する業務の総合評価、評価結果等に基づく全国的な業務改善(ハローワーク総合評価)の取組を、2015年度から実施。

PDCAサイクルによる 目標管理・業務改善の拡充

- ・従来の取組(就職率等の主要指標に基づくPDCAサイクルによる目標管理)を拡充し、
 - ①業務の質に関する補助指標
 - ②ハローワークごとに、地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する所重点指標
 - ③ハローワークごとに、中長期的なマッチング機能強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進する評価項目である所重点項目
 を新たに設定し、目標管理を実施。



短期的な成果の向上だけでなく
中長期的な業務の質向上・マッチング機能を強化

ハローワークのマッチング機能の 総合評価・利用者への公表

- ・業務の成果について毎月公表
 - 各労働局が所管ハローワークの主要指標の実績を毎月公表
- ・年度終了後、業務の成果(主要指標・所重点指標)や質(補助指標)、職員の資質向上・業務改善の取組(所重点項目)の実施状況を踏まえ、ハローワークごとに総合評価を実施。
 - 労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークを11のグループに分け、同一グループ内で相対評価
- ・ハローワークごとに総合評価結果及び業務改善の取組等をまとめ、各労働局が公表。

重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項、総合評価、基本統計データ、指標ごとの実績及び目標達成状況などを公表
- ・総合評価結果を、労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。

評価結果に基づく 全国的な業務改善

- ・ハローワークのマッチング機能の強化を図るため、評価結果をもとに、本省・労働局による個別のハローワークへの重点指導や好事例の全国展開を実施
 - ①評価結果に基づき、本省から、労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導
 - ②一定の基準に該当するハローワークは改善計画を作成、本省・労働局が重点指導
 - ③好事例は全国展開
 - 労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークによる交流会も開催

令和2年度 安定所別目標値

安定所番号(4桁)	局所名	評価グループ区分	所重点指標選択数	主要指標						補助指標		所重点指標										
				就職件数(常用)	就職率(常用)(前年度実績以上)	充足件数(常用、受理地ベース)	充足率(常用、受理地ベース)(前年度実績以上)	雇用保険受給者の早期再就職件数	雇用保険受給者の早期再就職割合(前年度実績以上)	紹介率(前年度実績以上)	生活保護受給者等の就職件数	障害者の就職件数	就職支援ナビゲーター(旧学卒ジョブサポーター)の支援による正社員就職件数	ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職水河期世代(35歳～54歳)の不安定就労者・無業者の件数	ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついたフリーター等の件数	公的職業訓練の修了3か月後の就職件数	マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率	正社員求人数	正社員就職件数	人材不足分野の就職件数	生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数	その他、安定所と労働局が調整し設定するマッチング業務指標
3700	香川局			15,067	35.5%	15,350	15.7%	4,079	40.2%	111.7%	325	839	1,155	1,103	1,435	650	93.4%	46,253	7,131	3,864	306	
3701	高松所	3	7	6,264	30.4%	7,258	15.3%	1,874	38.9%	111.4%	210			474			93.4%	20,074	2,915	1,631	120	
3702	丸亀所	6	4	3,357	40.1%	2,739	16.0%	800	42.3%	115.7%	40			265				10,006	1,620			
3703	坂出所	6	4	1,704	41.0%	2,064	16.7%	495	44.1%	121.6%	35			154				6,131	813			
3704	観音寺所	7	4	1,727	39.4%	1,728	16.1%	456	39.0%	104.8%				149				5,335	900		46	
3705	さぬき所	9	3	1,558	39.0%	1,115	14.8%	346	37.5%	107.0%				55				3,539	709			
3706	土庄所	11	3	457	47.0%	446	16.2%	108	44.4%	90.8%				6				1,168	174			

令和2年度マッチング機能に関する業務の評価・改善の取組にかかる目標設定

高松公共職業安定所

項目		目標値	年度の事業計画の概要
主要指標	就職件数(常用)	6,264件	<p>【プラスサービスの実施】 労働市場及び自己理解が不十分なため不採用を繰り返す者を中心に、プラスサービスによる就職支援を実施します。特に履歴書や職務経歴書の添削指導、面接のマナー・心構えについて重点的に実施します。</p> <p>【プラス・サービスのうち、応募書類に関する個別チェックと助言の重点的な実施(プラザ)】 これまで実施してきたプラス・サービスの中でも、就職割合の高い応募書類に関する個別チェックと助言について、特に重点的に実施します。</p> <p>【能動的マッチングを行い、手持ち求人、窓口における求人検索、提案紹介等を積極的に実施(プラザ)】 自薦求人以外に能動的マッチングを行い、求人充足会議における支援対象求人、新着求人等を中心に窓口において検索、提案紹介を行い、またDM・電話による来所勧奨も積極的に実施します。</p>
	充足件数(常用、受理地ベース)	7,258件	<p>【充足会議を利用したマッチング推進】 充足会議の場を利用して事業所部門と職業紹介部門担当者によるマッチング対象求人(※)の選定を行います。 ※手持ち求人による提案型紹介の対象/庁内掲示/求人情報誌掲載/正社員求人説明会や面接会の参加勧奨対象</p> <p>【求人担当者性の実施】 求人者支援員が中心となり開拓求人や充足可能性基準を満たす求人等に・求人充足サービス(条件緩和・記載内容見直し、急募掲示、求人情報誌への掲載、アピールボックス利用等)の提案を行うとともに、求人充足会議との連動強化を図ります。</p> <p>【高齢者支援求人の確保】 要件緩和等により高齢者支援求人を確保し所独自コードA13(65歳以上応募可能求人)およびA14(65歳以上応募歓迎求人)を活用することにより職業相談時の検索利便性の向上を図ります。</p>
	雇用保険受給者の早期再就職件数	1,874件	<p>【就職活動説明会への積極的な参加勧奨】 就職活動説明会への積極的な参加勧奨により早期再就職の意欲喚起と就職関連情報等を提供及び訓練施設の見学を実施します。また、緊要度・就職意欲が高いと判断される者については窓口誘導を行い、担当者制による支援を実施します。</p> <p>【給付制限中の来所勧奨相談の実施】 給付制限中の最初の認定日応当日に来所勧奨相談を実施し、求人情報、各種セミナー等の支援メニューを情報提供します。緊要度・就職意欲が高いと判断される者(紹介履歴のある者、認定日以外に相談記録のある者等)については担当者制による支援を実施します。</p>
補助指標	紹介率	111.4%	<p>【提案型紹介の実施】 手持ち求人等による提案型紹介を積極的に実施し、紹介件数の増加を図ります。</p>

項目	目標値	年度の事業計画の概要
生活保護受給者等の就職件数	210件	【支援対象者数の確保】 ハローワークに来所している生活保護受給者等のうち、就労の準備性が整っていると思われる者については、積極的にハローワークから自治体に対して支援要請を行います。 【自治体にハローワークの臨時相談窓口を設置し、児童扶養手当受給者に対する生保事業への積極的な誘導を実施】 児童扶養手当受給者が自治体に現況届を提出するタイミングに合わせて、自治体にハローワークの臨時相談窓口を設置し支援を行います。
ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代(35歳～54歳)の不安定就労者・無業者の件数	474件	【応募書類及び面接に関する助言の実施】 履歴書や職務経歴書の添削指導、面接のマナー・心構えについて重点的に実施します。
マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率	93.4%	【求人情報の提供、状況確認の実施、マザーズコーナー利用促進】 マザーズコーナー対象求職者へ主にDM・電話による求人情報提供及び求職状況確認を行い、マザーズコーナー利用を促すとともに就職支援を実施します。
正社員求人数	20,074件	【求人者支援員等による求人開拓の実施】 非正規求人を出した事業所に対して正社員での募集を勧奨するなどにより正社員転換を図るとともに、一定条件(社会保険加入の新設・拡張の事業所など)を満たす事業所に接触し正社員求人を開拓します。
正社員就職件数	2,915件	【担当者制の実施】 正社員就職希望者に重点をおいた担当者制を実施し、求職者ニーズに合わせた職業相談、紹介及び求人者ニーズを意識した情報提供など積極的なマッチングを行い、正社員就職件数の底上げを図ります。
人材不足分野の就職件数	1,631件	【人材確保対策コーナー支援対象者数の確保】 求職申込時の全員アンケートにより人材確保分野への再就職の意向を把握し、人材確保コーナーの支援対象者を確保の上、担当者制などマッチング支援を行います。また、人材確保分野で行うイベント・面接会などの周知については、アンケートにて特定の希望職種が「未定」であると答えた求職者にも案内をし、支援対象者の増加に努めます。 【福祉以外の分野に関する面接会や就職説明会の開催】 職場見学、フェア、ミニ面接会等のイベント開催が、福祉分野と比較すると少なかった「警備・運輸・建設」の事業所について、就職支援コーディネーターを中心として就職説明会やミニ面接会、事業所対象のセミナーを行うことで重点支援を行います。
生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数	120件	【生涯現役支援窓口での支援対象者数の確保】 生涯現役窓口での支援対象者数を確保し、担当者制での支援対象者数の増加を図ります。

所重点指標(※)

※年度ごとに、地域の雇用に関する課題を踏まえ、安定所が特に重点的に推進し成果を挙げる必要がある業務を目標としている。

令和2年度マッチング機能に関する業務の評価・改善の取組にかかる目標設定

丸亀公共職業安定所

項目		目標値	年度の事業計画の概要
主要指標	就職件数(常用)	3,357件	【早期再来所を目指すWelcom Cardの交付】 窓口で提供した個別の求人情報一覧表を検討し、1週間以内にWelcom Cardとともに持参すれば待ち時間なく相談できる仕組みを周知し早期再来所を促します。 【求職者担当制の実施】 早期再就職が見込める求職者を対象に、正規職員が毎月6人を担当し、担当開始月の翌々月末までの就職を目指します。
	充足件数(常用、受理地ベース)	2,739件	【企業説明会の開催】 求人への充足可能性を高めるため、求人窓口、及び事業所訪問時等において、事業所向け勧奨リーフレットを活用し企業説明会への参加を積極的に勧奨します。 【求人担当者制による求人充足のためのフォローアップの実施】 職業相談部門と連携し、重点求人を選定の上、求人充足会議を実施し、充足支援サービス及びフォローアップを行います。
	雇用保険受給者の早期再就職件数	800件	【全認定日相談を活用した紹介の促進】 緊要度に応じ、資格決定時、初回認定日相談時、給付制限中の指定相談日のいずれかの段階でWelcom Cardを活用した個別求人情報の提供を行い早期紹介を目指します。 【企業説明会の開催】 「気軽に立ち寄れる企業説明会」と題して、玄関・受付近くにミニブースを設け、庁内アナウンスを入れつつ求職者の誘導を図り、紹介へつなげるとともに、意欲喚起・職業理解の促進の機会とします。
補助指標	紹介率	115.7%	【求職者担当制の実施】 早期再就職が見込める求職者を対象に、正規職員が毎月合計6人を担当し、担当開始月の翌々月末までの就職を目指します。
所重点指標(※)	生活保護受給者等の就職件数	40件	【支援対象者の確保】 児童扶養手当受給者の生保事業への取り込みをさらに強化するため、マザーズコーナー利用者のうち、児童扶養手当受給者に対し、生保事業への参加勧奨を行います。 【個別予約相談の実施】 経済的理由等で来所ができない者に対しても、定期的な相談を実施できるよう、自治体への巡回相談を実施します。
	ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代(35歳～54歳)の不安定就労者・無業者の件数	265件	【「就職氷河期限定求人」「就職氷河期歓迎求人」の確保】 正社員求人提出事業所を中心に、事業所向け勧奨リーフレットを活用し、求人窓口や事業所訪問時等において、求人提出勧奨を実施します。 【対象求人提出事業所を中心とした企業説明会の開催】 玄関・受付近くにミニブースを設け、立ち寄りやすい環境を準備し、応募や事業所との接触に踏み込めず躊躇している求職者等に対し、積極的に誘導を図り、紹介へつなげるとともに、意欲喚起・職業理解の促進の機会とします。
	正社員求人数	10,006件	非正規社員の求人を提出した事業所に対して、正社員求人での募集を勧奨するリーフレット等を交付し、正社員求人への転換を勧奨します。
	正社員就職件数	1,620件	【正社員就職件数の確保】 正社員就職を希望する求職者を対象とする企業説明会を開催します。人材不足分野の事業所も含め3～5社選定し、企業の採用担当者から具体的に説明してもらい、意欲喚起、及び職業理解の促進を図ります。

※年度ごとに、地域の雇用に関する課題を踏まえ、安定所が特に重点的に推進し成果を挙げる必要がある業務を目標としている。

令和2年度マッチング機能に関する業務の評価・改善の取組にかかる目標設定

坂出公共職業安定所

項目		目標値	年度の事業計画の概要
主要指標	就職件数(常用)	1,704件	<ul style="list-style-type: none"> ・求職条件の優先順位を把握することで、特に求人倍率が低い事務職希望者への他職種へのマッチングを実施します。 ・正社員求人を対象としたミニ面接会を、毎回テーマを変えて対象者を絞って実施します。さらに、地元自治体とも連携した子育て世代を中心として求職者の掘り起こしと就職促進事業に取り組めます。
	充足件数(常用、受理地ベース)	2,064件	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の取組結果を踏まえ、以下の取組を強化・拡充します。 ・事業所訪問による「求人票+α」の情報収集の一層の推進に努めます。 ・西讃3所(坂出・丸亀・観音寺)と西阿波2所(徳島県三好・美馬)との連携により、労働市場の現状に応じた正社員求人の提供及びミニ面接会を実施します。 ・リーフレット等を活用した求人条件緩和の提案を強化します。
	雇用保険受給者の早期再就職件数	495件	<ul style="list-style-type: none"> ・再就職への意欲が高い初回認定日を中心に正社員求人を中心とに求人情報の提供と紹介の強化を図ります。 ・また、諸独自の就職支援セミナーを開催及び参加勧奨することで、再就職に向けた意欲の喚起に努めます。
補助指標	紹介率	121.6%	<ul style="list-style-type: none"> ・求職者に対する効果的なマッチングを推進するため、「テーマを絞ったミニ面接会の開催」「事務職希望者への他職種への転換と転換後の希望条件にあった個別求人開拓などのマッチングの強化」を推進します。求人とのマッチング機能の充実を図るため、次の取組を推進します。 ・職業相談担当職員による事業所訪問により、「求人票+α」の収集による職業相談の充実により紹介率の向上を図ります。 ・求職者のニーズに合わせた求人条件の緩和を提案します。
所重点指標(※)	生活保護受給者等の就職件数	35件	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と一体となったチーム支援により、次の取組の一層の充実を図ります。 ・個々の状況に応じた就労支援を実施するとともに、「福祉」から「雇用」への移行を促進させます。 ・支援対象者の希望、能力、経験等を踏まえた求人の開拓、求人条件の緩和提案等を行います。
	ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代(35歳～54歳)の不安定就労者・無業者の件数	154件	<ul style="list-style-type: none"> ・就職氷河期世代対象者の確実な把握とキャリアコンサルティングなどの就職支援によるマッチング支援の強化を図ります。 ・併せて、就職氷河期世代を対象としたミニ面接会を開催して、正社員就職を支援していきます。
	正社員求人数	6,131人	<ul style="list-style-type: none"> ・求人担当者制による事業所支援により、次の取組を推進します。 ・求人開拓に際し、正社員求人の質・量の獲得に重点を置きます。 ・非正規求人の受理時に、正社員求人のメリットなどを具体的に説明し、正社員求人への転換を図ります。
	正社員就職件数	813人	<ul style="list-style-type: none"> ・求職者のニーズに応じた積極的な求人開拓を実施し、ミニ面接会を中心とした正社員就職の推進を図ります。

※年度ごとに、地域の雇用に関する課題を踏まえ、安定所が特に重点的に推進し成果を挙げる必要がある業務を目標としている。

令和2年度マッチング機能に関する業務の評価・改善の取組にかかる目標設定

観音寺公共職業安定所

	項目	目標値	年度の事業計画の概要
主要指標	就職件数(常用)	1,727件	<p>【新規求職者の確保】 地方自治体や関係機関と協力して、ハローワークを利用していない就職活動中の人に対しハローワークの利用を呼びかけます。高齢一時金の支給終了者に再就職のメリット及び求人情報を提供することで、労働市場への参加を促します。</p> <p>【求人者の確保】 求人充足会議において、求人数の確保と紹介成功率の向上が図れるようにマッチングを重点的に意見を行います。有効求職者に占める60歳以上の割合が多い中、高齢者が応募できる求人の確保とパソコンを使用できない求職者について、高齢者支援求人の情報提供ができるような情報提供の改善に取り組みます。</p> <p>【就職支援セミナー参加者の確保】 若年者等で応募書類の書き方や面接の受け方を十分理解できていない者や、定年退職者など、就職活動にブランクがあったり、労働市場の状況を理解できていない者を積極的にセミナーの参加誘導をし、就職意欲の喚起、正しい就職活動の方法を理解させることで早期就職につなげます。</p>
	充足件数(常用、受理地ベース)	1,728件	<p>【求人者担当制の実施】 求人担当者制実施要領のもと、求人担当者制実施求人は求人充足会議に諮り、マッチングからフォローアップまでの進捗状況の管理を行います。</p> <p>【面接会、職場見学会の開催】 人材確保が課題となっている分野(介護、製造)を中心に職場見学会を実施します。</p>
	雇用保険受給者の早期再就職件数	456件	<p>【就職意欲喚起のための取組】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①認定日全員相談 ②再就職手当の活用 ③緊要度の高い求職者に対し双方向性の求職者担当制を実施 ④就職支援セミナーの受講勧奨 <p>これらの取組により雇用保険受給者の就職意欲喚起を行い、就職に結びつけます。</p> <p>【雇用保険受給者に対する早期再就職促進】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①初回認定日来所者を中心に再就職手当の試算を行います。 ②職種別認定日設定を行っており、認定日来所者の職種に合わせてミニ面接会を実施します。
補助指標	紹介率	104.8%	<p>【求職者担当制】 求職者担当者制実施要領に基づき、緊要度、期待度の高い求職者に対し積極的に求人情報の提供や通信紹介を活用する等斡旋サービスを行います。また、状況により支援サービスを実施する等マッチングを重視したサービスを行います。求職者マイページの開設促進を行い、求職者が行っている求人検索方法、保存している求人を確認することで紹介率の向上につなげます。</p>

項目	目標値	年度の事業計画の概要
ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代(35歳～54歳)の不安定就労者・無業者の件数	149件	<p>【求人確保】 求人者支援員を中心に就職氷河期世代支援対象者が応募できそうな正社員求人の開拓を実施します。特に就職氷河期世代支援対象者求人の開拓を行います。</p> <p>【就職への準備】 不安定就労者・無業者において、応募書類の書き方や面接の受け方を十分理解できていない者で労働市場の状況を理解できていない場合、積極的にセミナーの参加誘導をし、就職意欲の喚起、正しい就職活動の方法を理解させることで早期就職につなげます。</p>
正社員求人数	5,335件	<p>【求人確保】</p> <p>①求人者支援員を中心に正社員求人の開拓を実施します。 ②パートや有期契約雇用の求人を提出した事業所を中心に訪問し、求人条件緩和指導や正社員転換制度等の助成金活用方法を提案し正社員求人への転換を図ります。</p>
正社員就職件数	900件	<p>【正社員就職希望者に対する就職促進】</p> <p>①充足会議で選定した正社員求人提出事業所に、管理選考(ミニ面接会)の開催を依頼し、所内会議室で実施します。 ②正社員での就労を希望している者に対し、求職者マイページのメール機能やDM等を利用し正社員求人の情報を提供することで就職意欲の喚起を行います。</p>
生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数	46件	<p>【高齢者支援求人の開拓】 有効求職者に占める60歳以上の割合が多い中、高齢者が応募できる求人の確保とパソコンを使用できない求職者について、高齢者支援求人の情報提供ができるような情報提供の改善に取り組みます。</p> <p>【面接会、職場見学会の開催】 製造職を中心として、高齢者支援求人を提出している事業所を中心とした会社説明会・面接会等を開催します。</p> <p>【求職者の確保】 高齢一時金の支給終了者に、再就職のメリット及び求人情報を提供することで、労働市場への参加を促します。</p>

※年度ごとに、地域の雇用に関する課題を踏まえ、安定所が特に重点的に推進し成果を挙げる必要がある業務を目標としている。

令和2年度マッチング機能に関する業務の評価・改善の取組にかかる目標設定

さぬき公共職業安定所

項目		目標値	年度の事業計画の概要
主要指標	就職件数(常用)	1558件	求職者担当者制(対象者は常時3~5名、うち1名以上を雇用保険受給者とする)によるより求職者に寄り添った職業相談を行うことにより、早期の就職を図ります。また、就職機会の増大を期して、正社員求人提出事業所を中心にミニ面接会を開催します(さぬき所年12回、東かがわ所年6回)。
	充足件数(常用、受理地ベース)	1115件	求人充足ミーティング(週1回)において充足支援を強化する求人を選定し、2人1組のチームによる求人担当者制を実施します。具体的には、情報提供の強化等を実施するとともに、求人条件緩和等を働きかけ、ミスマッチの幅を縮小します。また、事業所訪問等による正社員求人の開拓を強化します。
	雇用保険受給者の早期再就職件数	346件	初回認定日相談等の早い段階で求人情報の提供や再就職手当の試算表等を手交するとともに、求職者担当者制による早期再就職に向けた職業相談を実施します。
補助指標	紹介率	107.0%	求人担当者制を求人担当と紹介担当のペアで行うことにより、的確に求職者の生の声を求人事業所に伝え、ミスマッチの起こりにくい求人確保するとともに、求職者担当者制により、求職者個々の状況に寄り添い、就職支援セミナー等を積極的に活用することにより、応募に向けての課題を克服していくことで早期の再就職を目指します。
	ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	55件	求職者担当者制の実施及び就職支援セミナーへの参加勧奨等を行うことにより、就職意識の醸成と自己の見つめ直しを図ります。また、正社員求人を中心としたミニ面接会を開催し、正社員求人への応募機会増大を図ります。
	正社員求人数	3539件	人材不足分野を中心に事業所訪問等を行い、労働市場、求職者の生の声等を伝えることにより、魅力ある正社員求人の提出を図ります。
	正社員就職件数	709件	求職者担当者制等により若年者を中心に正社員就職する利点を経済面も含めて説明し、就職支援セミナー参加や応募前職場見学等を通じて正社員就労への意識を醸成します。また、正社員求人を中心としたミニ面接会を開催することで正社員求人への応募機会を増大します。

※年度ごとに、地域の雇用に関する課題を踏まえ、安定所が特に重点的に推進し成果を挙げる必要がある業務を目標としている。

令和2年度マッチング機能に関する業務の評価・改善の取組にかかる目標設定

土庄公共職業安定所

項目		目標値	年度の事業計画の概要
主要指標	就職件数(常用)	457件	【新規求職者への安定所メニューの案内】 雇用保険説明会での安定所メニュー、就職支援セミナー、履歴書の添削等の案内を、一般求職者へも幅広く周知します。
	充足件数(常用、受理地ベース)	446件	【マッチングサポートの充実】 充足会議を充実し、前年度以上の呼出をするとともに、急募コーナーにおける提供内容の充実を図り、充足求人を増やします。
	雇用保険受給者の早期再就職件数	108件	【早期再就職意欲の喚起】 就職支援セミナーの受講を奨励し、早期再就職意欲を喚起します。 【認定日相談の充実】 認定日における全員相談を実施し、求人情報を提供することにより、早期再就職を図ります。
補助指標	紹介率	90.8%	【緊要度の的確な把握】 新規求職登録時に、本人からの要望を的確に聞き出すことにより緊要度を把握し、意欲の高い求職者に対して早期に呼出等を行います。
	ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代(35歳～54歳)の不安定就労者・無業者の件数	6件	【対象者の的確な把握】 求職登録時に対象者を的確に把握するとともに、対象者の希望に応じ、求職者担当者制により重点的な支援を行います。
	正社員求人数	1,168件	【求人開拓の実施】 計画的な事業所訪問を実施し、正社員求人の確保に努めます。
	正社員就職件数	174件	【求職者担当者制の実施】 求職者担当者制を実施し、職員・相談員が常時3名担当することにより、正社員求人の紹介を行います。

※年度ごとに、地域の雇用に関する課題を踏まえ、安定所が特に重点的に推進し成果を挙げる必要がある業務を目標としている。